

① HURRY POT DX

『4つの課題を、6つのECOで解決』

介護現場の4つの課題

毎月 **約50万円** 100床施設の例
年々上昇する廃棄物処理費・収集運搬費



01 コスト

処理量に応じて費用が増加

03 保管場所

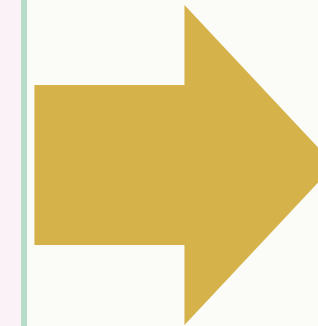
大量のごみ袋がスペースを占有

02 臭い・衛生

悪臭と感染症リスク

04 環境負荷

焼却・運搬に伴うCO₂排出



HURRY POT DX 6つのECO



約1/80

袋のまま投入

365日稼働

01 約1/80に減容
袋のまま投入

02 小型車1台分
コンパクト設置

03 電気のみで稼働
石油燃料を不使用

04 臭い・煙ほぼなし
排気・臭気を制御

05 運転音 約60dB
夜間利用にも配慮

06 CO₂排出を削減
運搬回数も軽減

廃棄コストと現場負担を、同時に減らす

② 「焼却」ではなく「熱分解」で 独自の熱分解技術で安全に炭灰・無害化する処理装置

施設のスタッフは投入するだけ、炭灰は月に2回のメンテナンス時に
メーカーが回収することによりスタッフの負担を軽減



紙おむつを投入
袋のまま投入可能



スイッチON
全自動で熱分解



処理後の炭灰
約1/80まで減容

1日 約500L
1回 約250L × 2回

煙・臭い・音を抑制
運転音は約60dB
(エアコンの室外機程度)

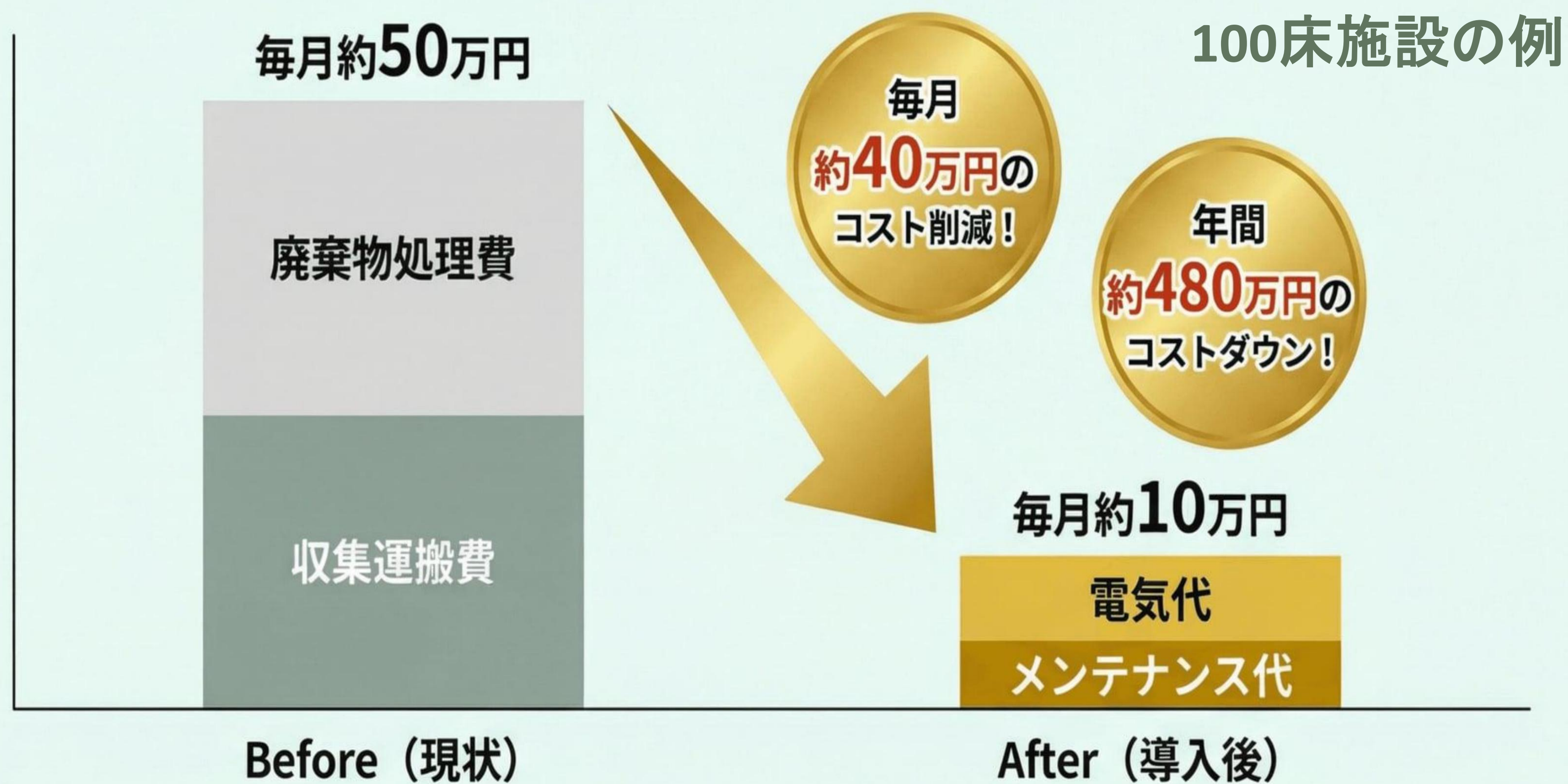
小型車1台分
コンパクトな設置スペース

※処理能力：1日約500L（45Lゴミ袋10～12袋）、365日稼働、使用条件により異なります。

③ 導入効果：コスト削減・環境負荷低減

毎月約40万円の削減例。運搬・焼却に伴うCO₂も削減

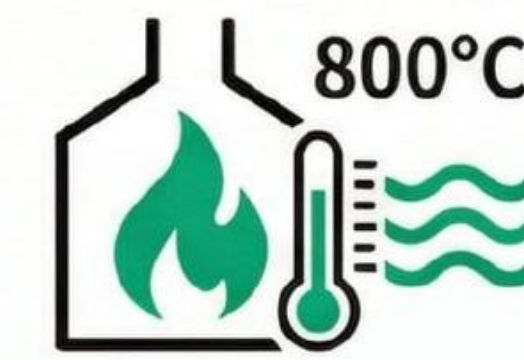
コスト削減シミュレーション例



現状 月約50万円→導入後 月約10万円へ

毎月 約40万円 年間 約480万円の削減例

01



ダイオキシン無毒化

800℃以上の熱分解で
有害物質をクリアに。

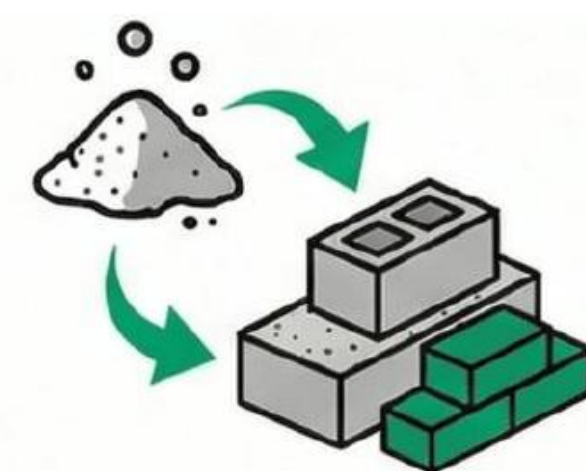
02



CO₂排出を大幅削減

運搬トラック不要&焼却炉
不使用、カーボンニュート
ラルに貢献。

03



炭灰を資源として再利用

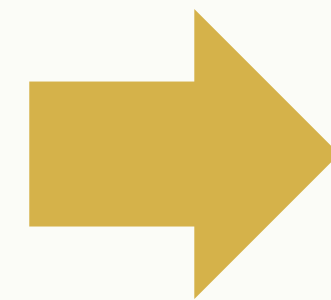
炭混パウダーをコンクリート・
ブロックなどの材料へ。

※機器本体価格・リース料等を含まないランニングコスト比較です。
実際の削減額は廃棄量・契約条件等により異なります。

④ SDGsへの貢献 処理後の炭灰はリサイクル

自治体の焼却ゴミも減らし、処理後の炭灰を建材へ再利用

廃棄から、資源循環へ



処理後の炭灰を回収

コンクリート製品などへ

炭灰は月に2回メーカーが回収、施設の負担はなし。

ごみの減容
＋
資源リサイクル
全国40台以上

介護施設・病院で稼働中

月最低2回の点検メンテナンス

- ・ 関東・関西エリアに専任技術スタッフ
- ・ 導入後も安心して運用できる体制

見学会・導入相談

出展：株式会社MARSOLUNA
担当者：松本、三田村、厚海

Mail : hurriypot@marsoluna.com

見学・お見積り・削減シミュレーションなどお気軽にお問い合わせください。

